

令和 3 年 3 月

## 令和 3 年度の調布市の事業について

令和 3 年度は、未だ収束の見通しの立たない新型コロナウイルス感染症による長期的な影響も見据え、引き続き、市民の安全・安心な生活を支えるための施策展開を図るとともに、今年度一部改定した「調布市障害者総合計画」に基づく取組を推進します。

障害福祉課において令和 3 年度に予定している主な新規拡充事業は以下のとおりです。

<参考>

令和 3 年度当初予算案の状況

障害福祉課所管の一般会計歳出予算：前年度比マイナス1.2%の82億円、障害福祉課予算は市全体901億（前年度比マイナス3.1%）の9%。

## 1 知的障害者体験型グループホームの運営支援

令和 3 年度、社会福祉法人が新たに開設を予定している知的障害者を対象とする体験型グループホームに対し運営費を補助します。

これにより、知的障害者を対象とする体験型グループホームが「すてっぷ」と合わせて二つとなり、これまで不足していた部屋数の増加を図るとともに、男女別々に利用いただけるようになることで同性介助の問題の解決を図ります。

## 2 地域共生ふれあい商店等補助事業の延長

令和元年度にパラリンピック開催を契機として、市内の商店がバリアフリー化を実施するために必要な改修及び備品等の購入にかかった費用の一部を補助する「調布市地域共生ふれあい商店等補助事業」を開始しました。

当初は、令和 2 年度までの時限事業の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりパラリンピックが延期となったことに伴い、本事業について 1 年延長し令和 3 年度も継続して実施します。

令和 2 年度の実績については、市内小規模店舗のソフト・ハード面のバリアフリー化をさらに推進するため、補助率等の見直しなどにより、30 件（改修 18 件、備品購入 6 件、消耗品等購入 6 件）の申請に対し 900 万円程度の補助金交付を見込んでいます。（昨年度比 230%増）

### 3 その他

#### (1) 移動支援

福祉タクシー券事業をはじめとする移動支援全般について，引き続き，検討会において検討します。

#### (2) 「デイセンターまなびや」に続く重症心身障害者施設の整備

特別支援学校卒業生等に必要なサービス提供が途切れることのないよう，新たな通所先の確保について，「調布基地跡地福祉施設（仮称）」の整備動向も踏まえつつ，他の手法も取り入れて整備することも視野に入れながら整備規模，時期及び医療的ケア体制等の検討を進めます。